

共催 兵庫県がん診療連携協議会・(公社)兵庫県臨床検査技師会

「検査セミナー」

テーマ：がん診療における心エコー図検査の役割 ～がんサバイバーのQOL向上のために～

日時 令和7年12月6日(土) 14:00~16:00

場所 神戸市教育会館 大ホール（神戸市中央区中山手通4-10-5）

近年、がん化学療法の進歩により、治療後も職場や日常生活へ復帰される患者が増加しています。しかし、治療前と全く同じ生活に戻ることは難しく、戸惑いや不安を感じる方も少なくありません。特に、抗がん薬による心不全は、がんサバイバーの生活の質(QOL)を著しく低下させる要因となっています。

このような背景から、心不全の症状が現れる前に早期発見し、迅速に治療介入を行うことが、心不全への進行を防ぎ、患者のQOLを維持する鍵となります。今年度は、心エコー検査による心不全の早期発見に焦点を当てた講演を企画致しました。

本講演を通じて、がん薬物療法とそれに関連する心エコー図検査への理解を深めていただければ幸いです。なお、今回も会場での講演に加え、Zoomによるオンライン配信も予定しておりますので、ぜひご参加ください。

【プログラム】

13:30~ 受付開始

14:00~ 開会挨拶 富永 正寛（兵庫県がん診療連携協議会議長、兵庫県立がんセンター院長）

14:05~ 座長：村山 徹（兵庫県立がんセンター 検査部長）

講演1. がん診療で経験する心不全～HFpEFとHFrEFの特徴と治療戦略～

演者：野中 顕子（兵庫県立がんセンター 腫瘍循環器科）

講演2. 心毒性のあるがん薬物療法について

演者：荒瀬 みのり（兵庫県立がんセンター 薬剤部）

15:25~ 座長：長尾 秀紀（兵庫県立淡路医療センター 検査技師長）

講演3. がんセンターでのGLS計測の実際

演者：岡政 尚子（兵庫県立がんセンター 検査部）

15:55~ 閉会挨拶 松田 武史（公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 会長）

〈世話役〉 兵庫県立がんセンター 検査技師長 矢野 曜子
(公社)兵庫県臨床検査技師会 会長 松田 武史